

平成 29 年 9 月 26 日
国立情報学研究所
学術コンテンツ課

平成 29 年度 SPARC Japan 事業の進捗報告

第 5 期基本方針のもと、平成 29 年度は次のプロジェクトを実施している。

(1) SPARC Japan セミナー **2. ①②への対応**

アドボカシー活動として、SPARC Japan セミナーを数回実施する。平成 28 年度同様に企画ワーキングを設置し、年間テーマを策定の上、年間テーマに沿って、各回の企画・実施を行っている。また、ドキュメントを作成してウェブサイトで公開する。第 1 回は 9 月 13 日(水)に開催した。第 2 回は 10 月末開催予定で、第 3 回以降は現在企画中である。

【資料 2-2-1～3】

(2) 海外動向調査 **2. ③④への対応**

- ・ RDA (Research Data Alliance) 9th Plenary Meeting 2017 (4 月 5-7 日, バルセロナ) に NII 武田教授, 山地准教授, 船守准教授, 金沢准教授, 蔵川准教授を派遣した。
- ・ COAR (Confederation of Open Access Repositories) Annual Meeting 2017 (5 月 8-10 日, ヴェニス) に NII 山地准教授を派遣した。
- ・ IDF Strategic Meeting International DOI Foundation (6 月 13-14 日, デジョン) DOI Outreach Meeting (6 月 15 日, ソウル) に NII 武田教授を派遣した。
- ・ OR2017 (6 月 27-30 日, ブリスベン) にオープンアクセスリポジトリ推進協作業部会委員の林 豊氏 (九州大学) を派遣し, ポスターセッションで発表を行った。
また, 下記の国際会議に参加し, 情報収集を行う予定である。
- ・ PIDapalooza (1 月 23-24 日, カタルーニャ) , IDF Strategic Meeting

(3) arXiv.org コンソーシアム事務局 **2. ①②への対応**

arXiv.org のコンソーシアム事務局として, arXiv.org の事務局とコンソーシアム間の連絡・意見調整を行う。日本の大学図書館からの 2017 年会費を NII がとりまとめて支払った。また, 日本コンソーシアムの代表である引原京都大学図書館機構長が MAB (Member Advisory Board, 10 月 5 日) に出席の予定である。【資料 3-1-1～3】

(4) SCOAP³ 支援 **2. ①②への対応**

SCOAP³ フェーズ 2 (2017-2019 年) に係る日本のとりまとめを行っている。【資料 3-2】

(5) CLOCKSS 支援 **2. ①②への対応**

CLOCKSS の 2017 年会員制モデルへの参加の意向および連絡先を確認し、CLOCKSS の事務局と日本の参加機関との連絡調整を継続した。日本の参加機関からの年会費を NII がとりまとめて支払った。

(6) 論文公表実態調査 **2. ④への対応**

平成 28 年度に引き続き、JUSTICE と連携し、日本の論文公表実態調査のフォローアップを行っている。

(7) SPARC Japan 年報の発行 **2. ②④への対応**

SPARC Japan に関するニュースはウェブで広報する。また活動記録のために報告書を発行する。各回のセミナーの記録および基礎情報のまとめ等を整理し、年 1 回の形で発行する。平成 28 年度年報（日本語版）、平成 27 年度年報（英語版）を本年度中に発行予定である。

(8) 高エネルギー物理学分野の情報サービスに係る国際連携協定への対応 **2. ③への対応**

NII, KEK（高エネ研）、CERN の 3 機関の国際連携協定に基づき、国立情報学研究所実務研修の一環として、以下を実施する。

派遣者：横井慶子

所属：東京大学 附属図書館 情報管理課

研修テーマ：データキュレーションに関する知識と技術の習得

派遣先：CERN（欧州原子核研究機構）

CERN 派遣期間：平成 29 年 10 月 2 日（月）～12 月 15 日（金）

その他：上記のほか、ヨーロッパで開催される関係イベント参加、関係機関見学